

## 参考資料3 中間報告における調査結果の分析

### 1 仕事への不安と就業支援の実態

20代から60代の就労世代獣医師の男女別の集計結果、現在は無職である女性獣医師の回答からは、女性獣医師が抱えている課題に加え、男性獣医師も含めた獣医師全体で取り組むべき課題も明らかになった。

#### (1) 獣医師が抱えている不安

「現在あなたが仕事をしていて不安に感じたり、負担に思うことはありますか。」の設問への回答は以下のとおりであった。

##### ア 診療獣医師

図1-1に産業動物診療に従事する男性獣医師、図1-2にその女性獣医師、図2-1に小動物診療に従事する男性獣医師、図2-2にその女性獣医師の回答割合をグラフに示した。

#### (ア) 労働条件

労働時間、休暇、給与等について、小動物診療獣医師で不安や負担を感じている割合が高く、特に「労働時間の長さ」や「休暇の取りにくさ」については、男性獣医師、女性獣医師ともに約7割が不安や負担を感じていた。

こうした勤務環境の厳しさは、団体や企業に勤務していることが多い産業動物診療獣医師に対し、開業獣医師又は勤務獣医師として小規模施設に従事していることが多い小動物診療獣医師の男女共通の課題であることが伺えた。

#### (イ) 技術や知識経験

「技術的に自信がない」、「知識や経験が不足している」と感じている割合は産業動物診療獣医師、小動物診療獣医師ともに男性獣医師に比べて女性獣医師が高かった。

#### (ウ) 体力・仕事や育児等との両立

「体力に自信がない」、「妊娠中の仕事の継続」、「仕事と育児や家事との両立」への不安は、産業動物診療獣医師、小動物診療獣医師ともに、女性獣医師は高い割合で感じていた。特に、「妊娠中の仕事の継続」、「仕事と育児や家事との両立」に関連して、「就業時間の変更」、「パートタイム勤務等の短時間勤務」への要望も高く、「必要なときに短時間の勤務ができない」と感じている女性獣医師は、産業動物診療獣医師で46%、小動物診療獣医師で56%であった。

女性獣医師にはライフステージに応じたきめ細かいサポートが必要であることが伺えた。

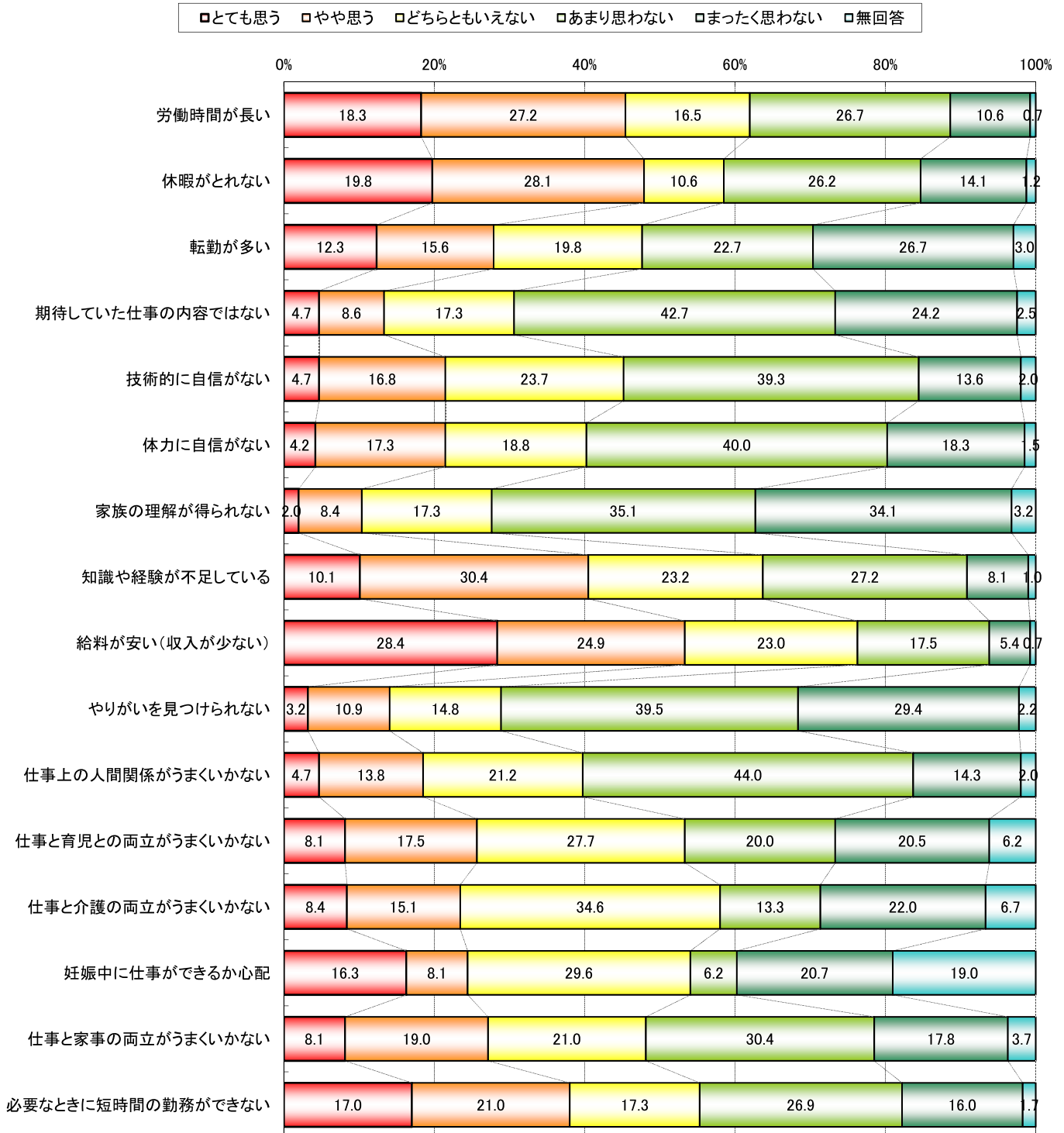
## イ 公務員獣医師

図 3-1 に男性獣医師、図 3-2 に女性獣医師の回答割合を示した。

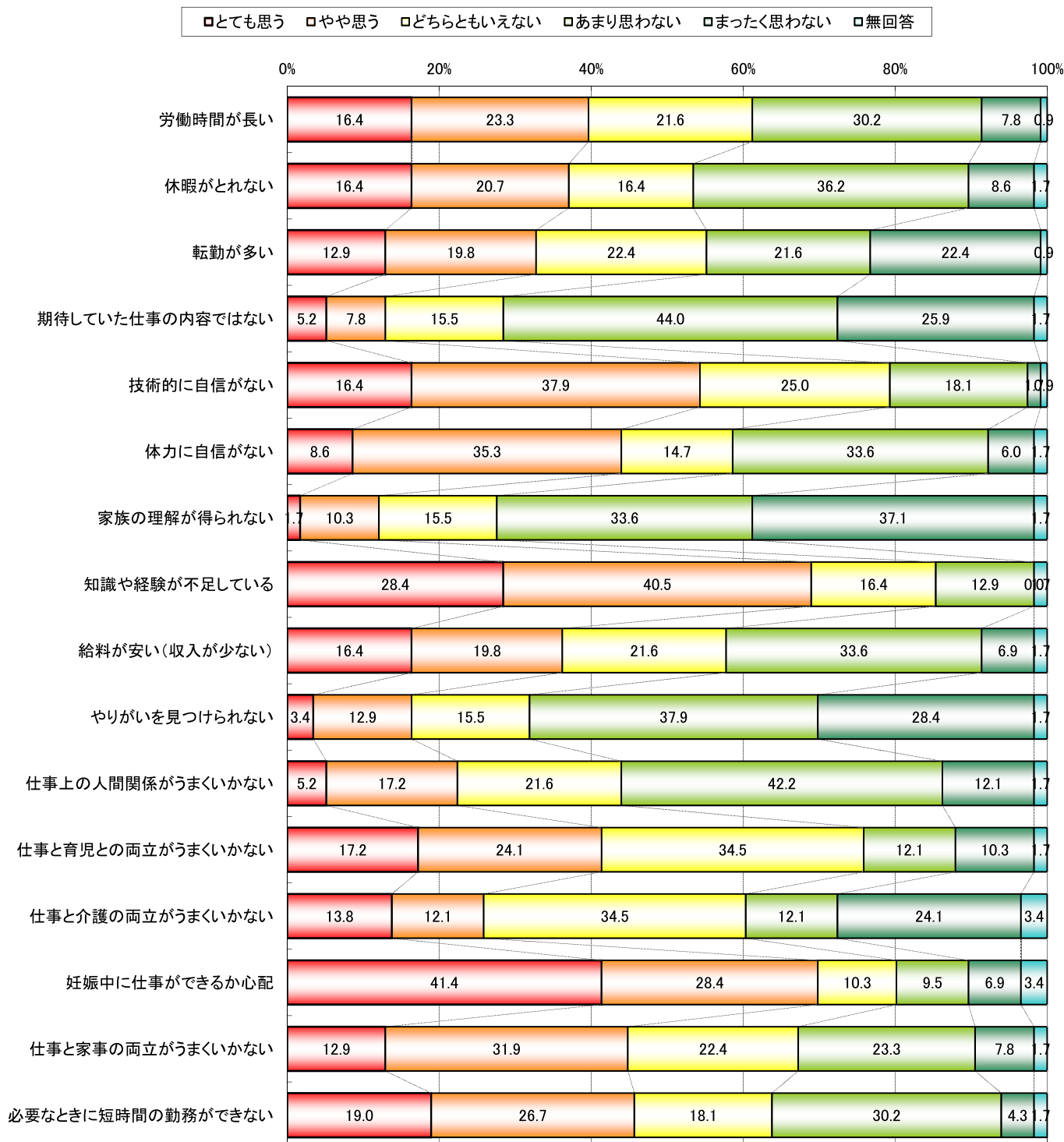
小動物診療獣医師に顕著であった「労働時間の長さ」や「休暇の取りにくさ」への不安を感じている割合は低く、労働環境に配慮されている状況が伺えた。

一方で、「知識や経験の不足」、「給料が安い」と感じている割合は、男性獣医師、女性獣医師ともに高く、公務員獣医師においても処遇改善やスキルアップの仕組みについては男女共通の課題であることが伺えた。

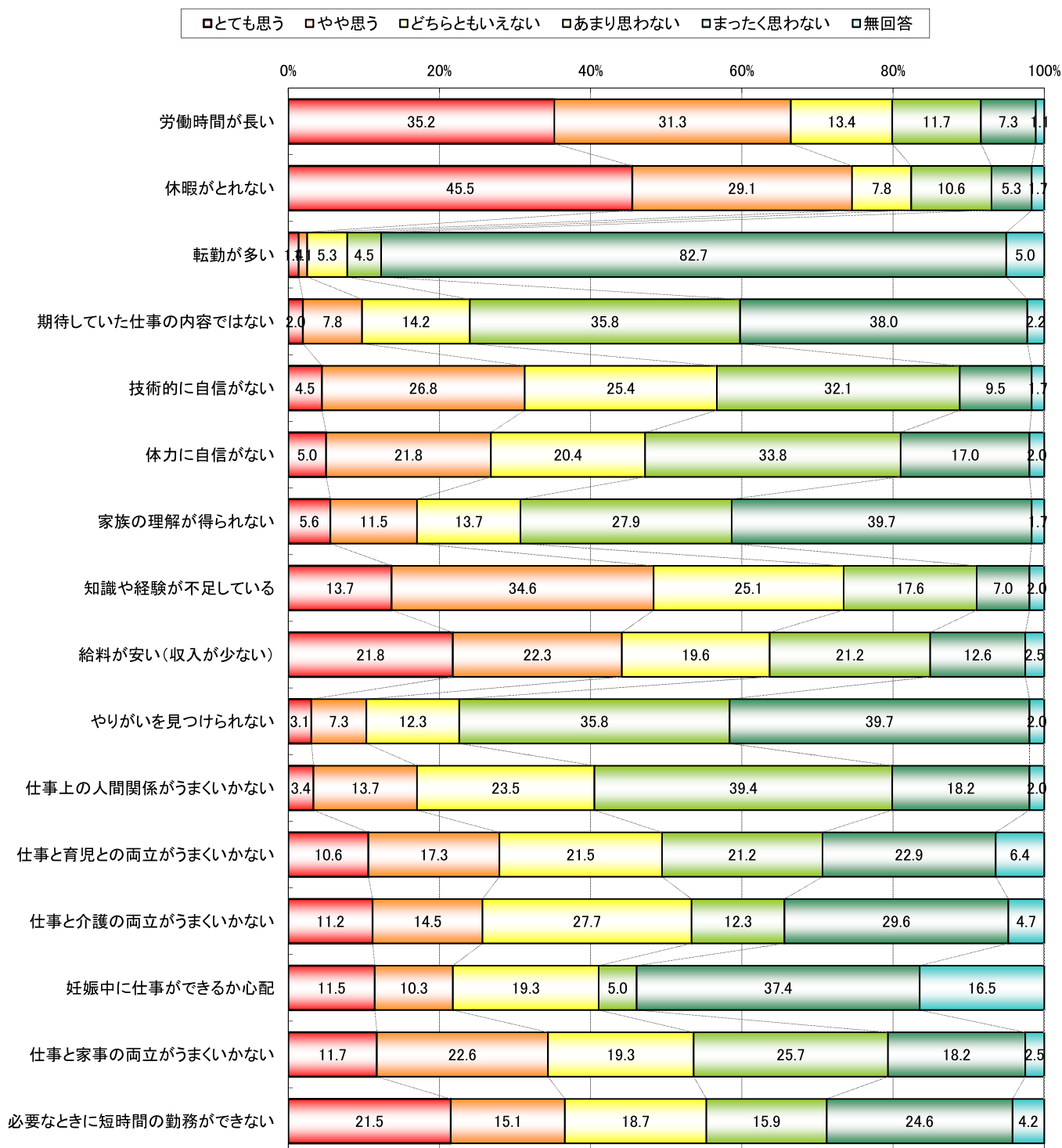
[図1-1] 産業動物診療分野に従事する男性獣医師の仕事への不安



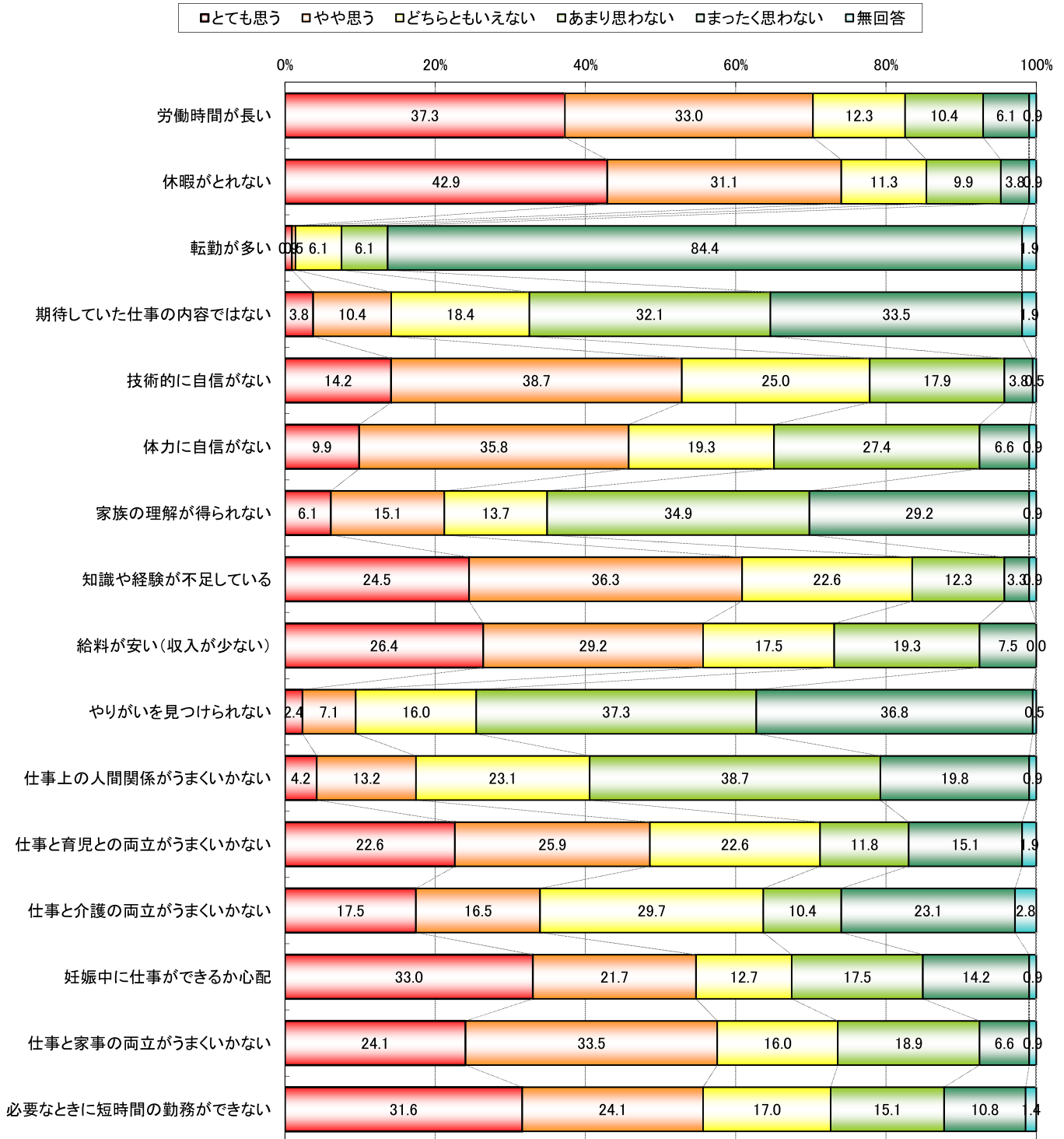
[図1-2] 産業動物診療分野に従事する女性獣医師の仕事への不安



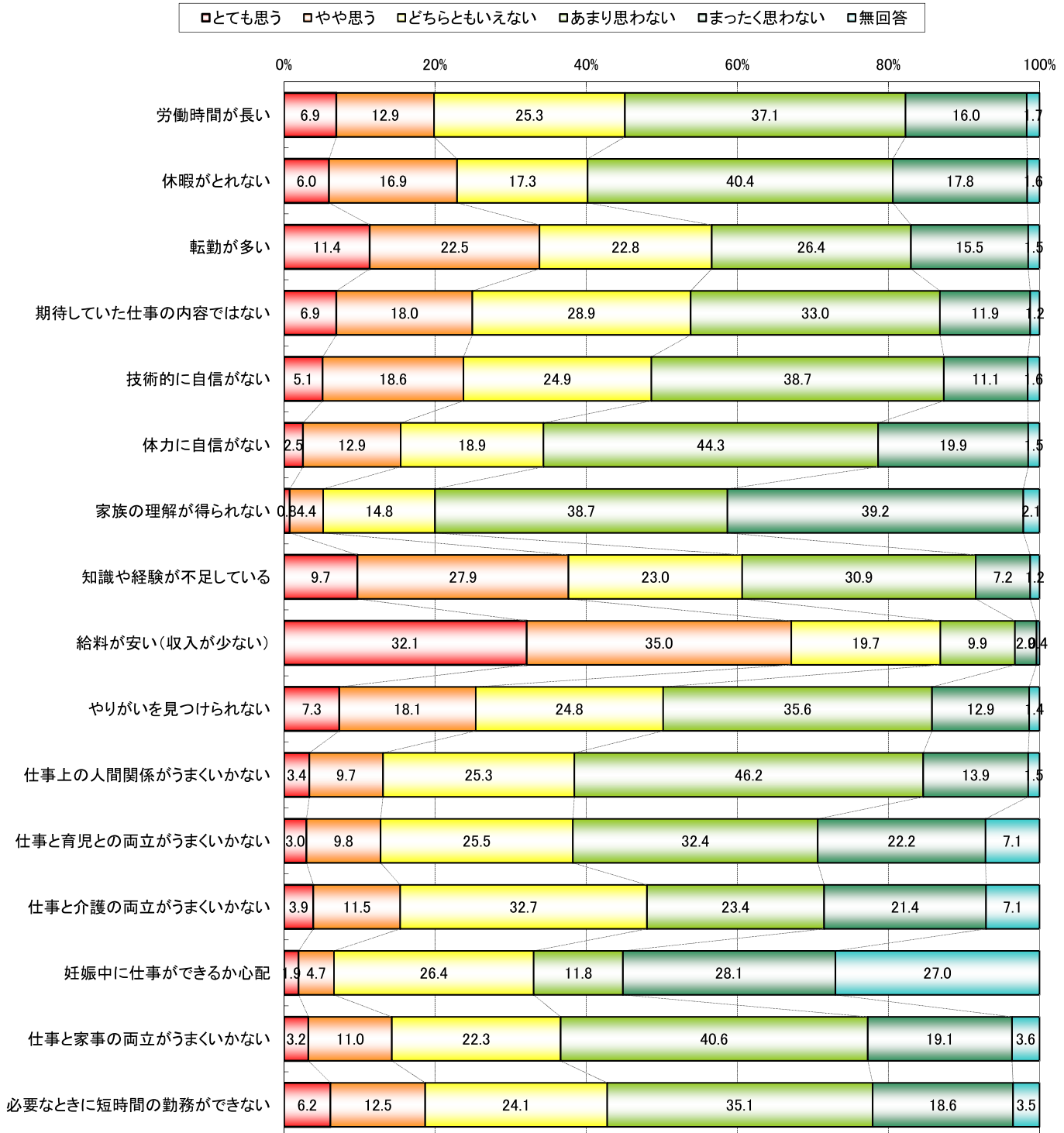
【図2-1】 小動物診療分野に従事する男性獣医師の仕事への不安



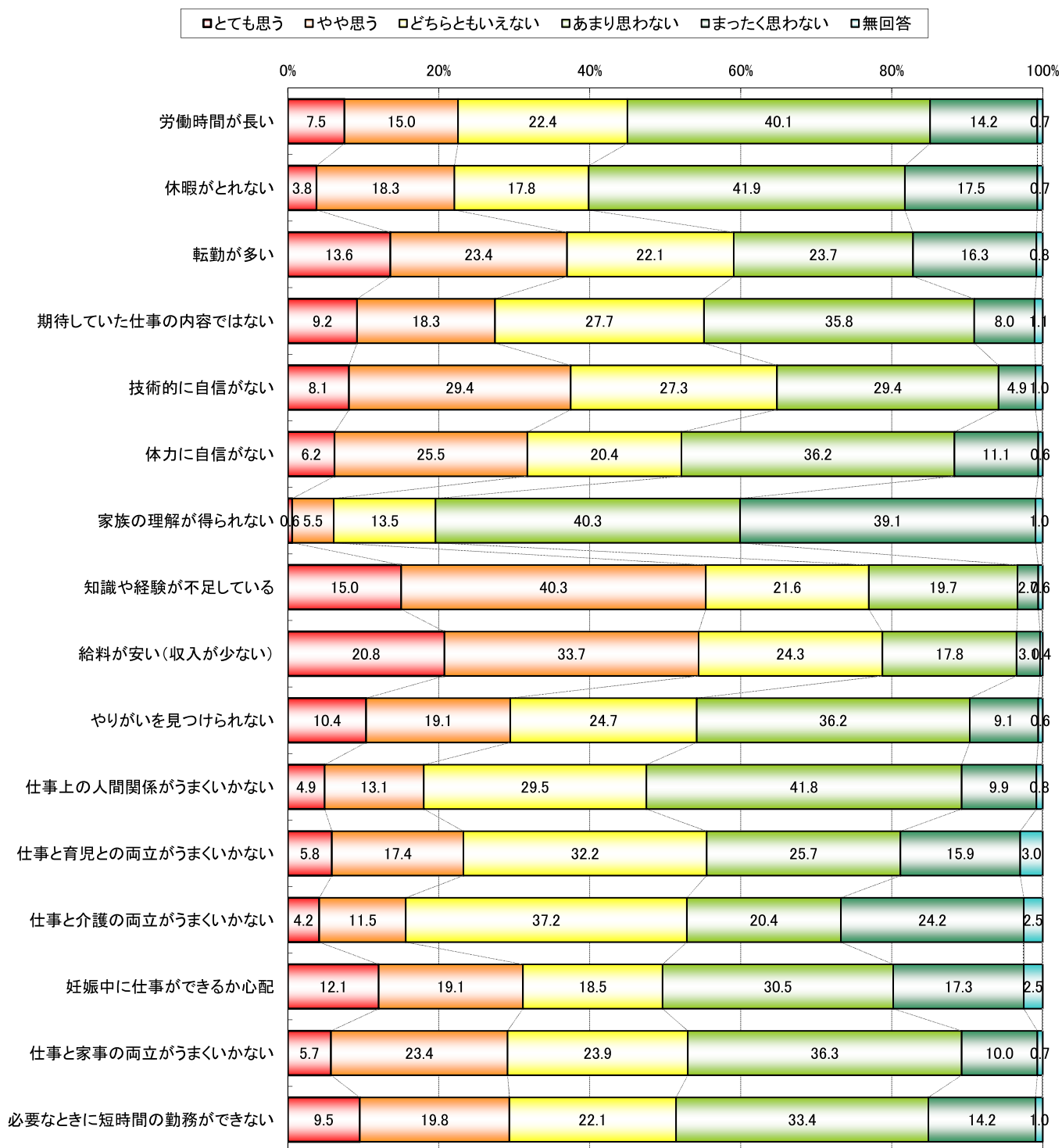
[図2-2] 小動物診療分野に従事する女性獣医師の仕事への不安



[図3-1] 公務員男性獣医師の仕事への不安



[図3-2] 公務員女性獣医師の仕事への不安





## (2) 女性獣医師への就業支援の実態

「職場での女性の就業支援はどの程度整備されていると思われますか。」の設問への回答は以下のとおりであった。

### ア 診療獣医師

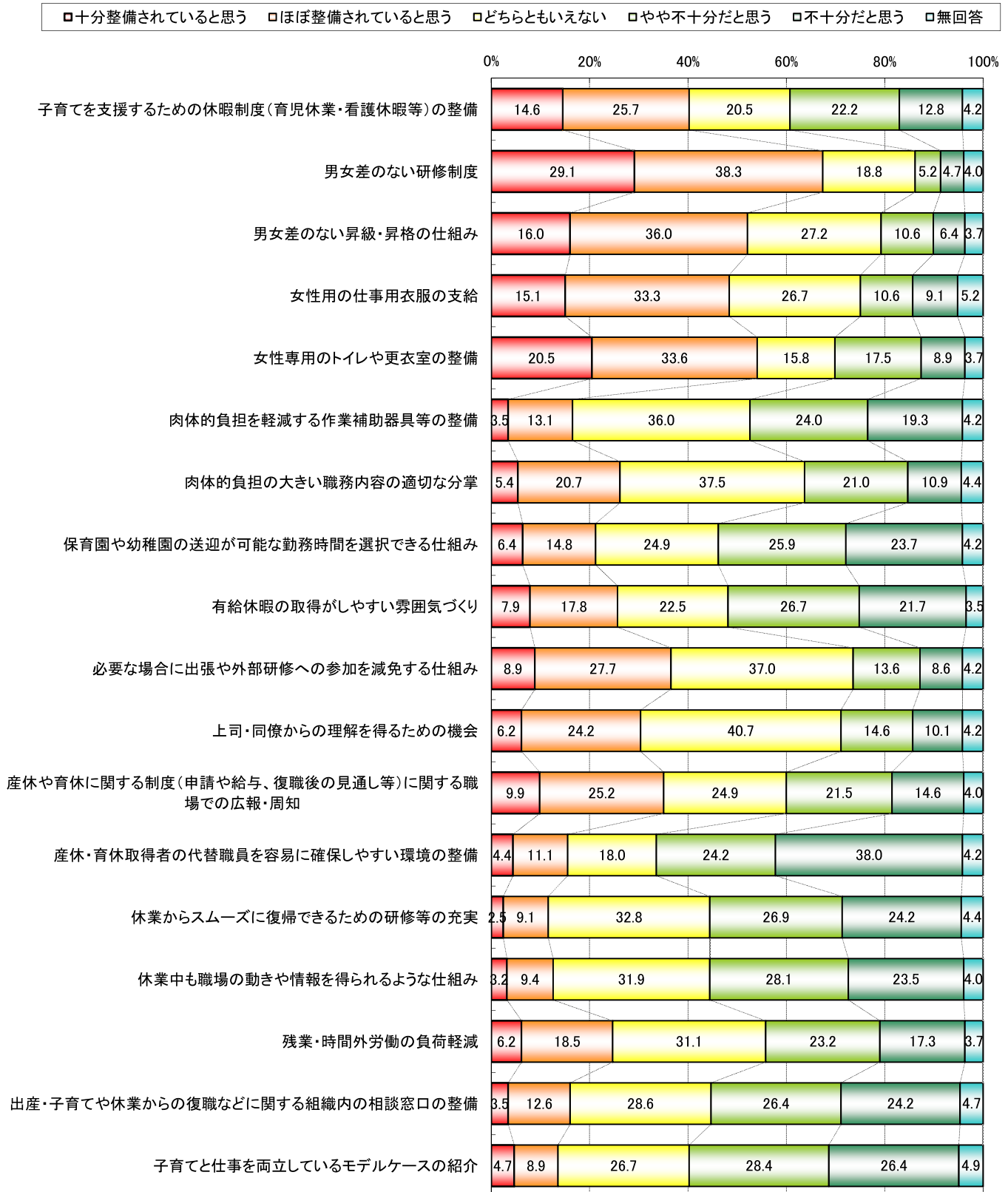
図 4-1 に産業動物診療分野に従事する男性獣医師、図 4-2 にその女性獣医師、図 5-1 に小動物診療分野に従事する男性獣医師、図 5-2 にその女性獣医師の回答割合を示した。図 6-1 の公務員男性獣医師、図 6-2 の公務員女性獣医師と比較して、産業動物診療及び小動物診療ともに、診療に従事する獣医師の「十分整備されている」、「ほぼ整備されている」の回答割合は低かった。特に、新卒者の約半数が進路とする小動物診療分野は、産業動物診療分野と比較して、「十分整備されている」、「ほぼ整備されている」とする回答割合が低く、女性獣医師にとって働きやすい職場とは言い難く、改善が求められていると考えられた。

### イ 公務員獣医師

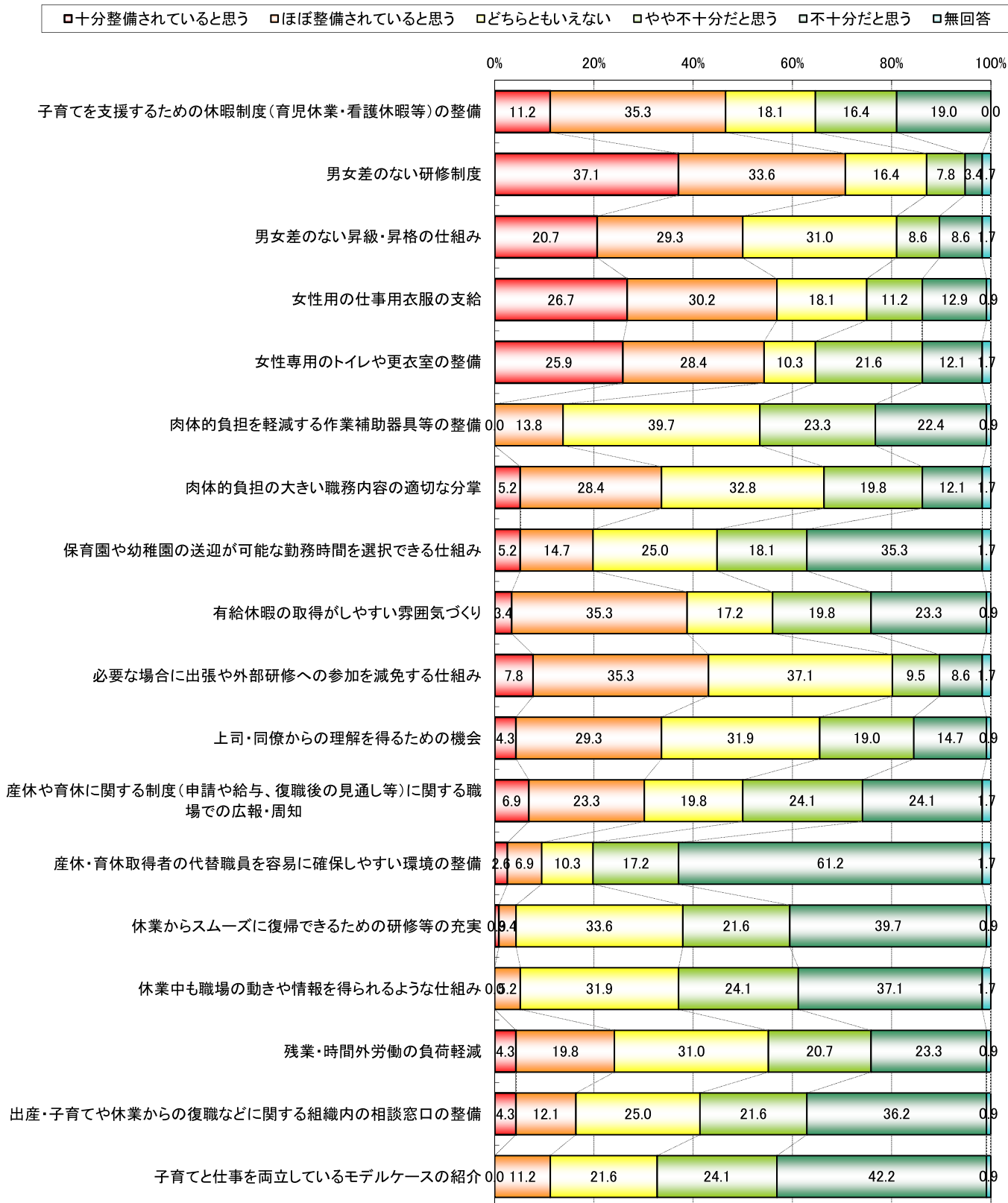
図 6-1、図 6-2 にみられるように、就業上の不安が比較的少なかった公務員獣医師では、就業者の不安感の少なさを裏付けるように、制度的な整備は相当進んでいる様子が伺えた。一方で、「肉体的負担を軽減する作業補助器具等の整備」や「出産休暇・育児休暇取得者の代替職員を容易に確保しやすい環境の整備」、「休業からスムーズに復帰できるための研修等の充実」、「休業中も職場の動きや情報を得られるような仕組み」、「子育てと仕事を両立しているモデルケースの紹介」については、「十分整備されている」及び「ほぼ整備されている」とする回答割合が低かった。

このことから、公務員獣医師の場合も、就業規則等の制度上の整備は相当程度進んでいるものの、女性特有の問題、たとえば男性に比べて体力的に不利であること、育児休暇や出産休暇の取得をはじめ子育てを不安なく行える職場環境が求められていること、出産や育児で一定期間職場を離れた後のスムーズな職場復帰が求められていること等の就業現場での対応は、必ずしも十分ではない実態が伺えた。

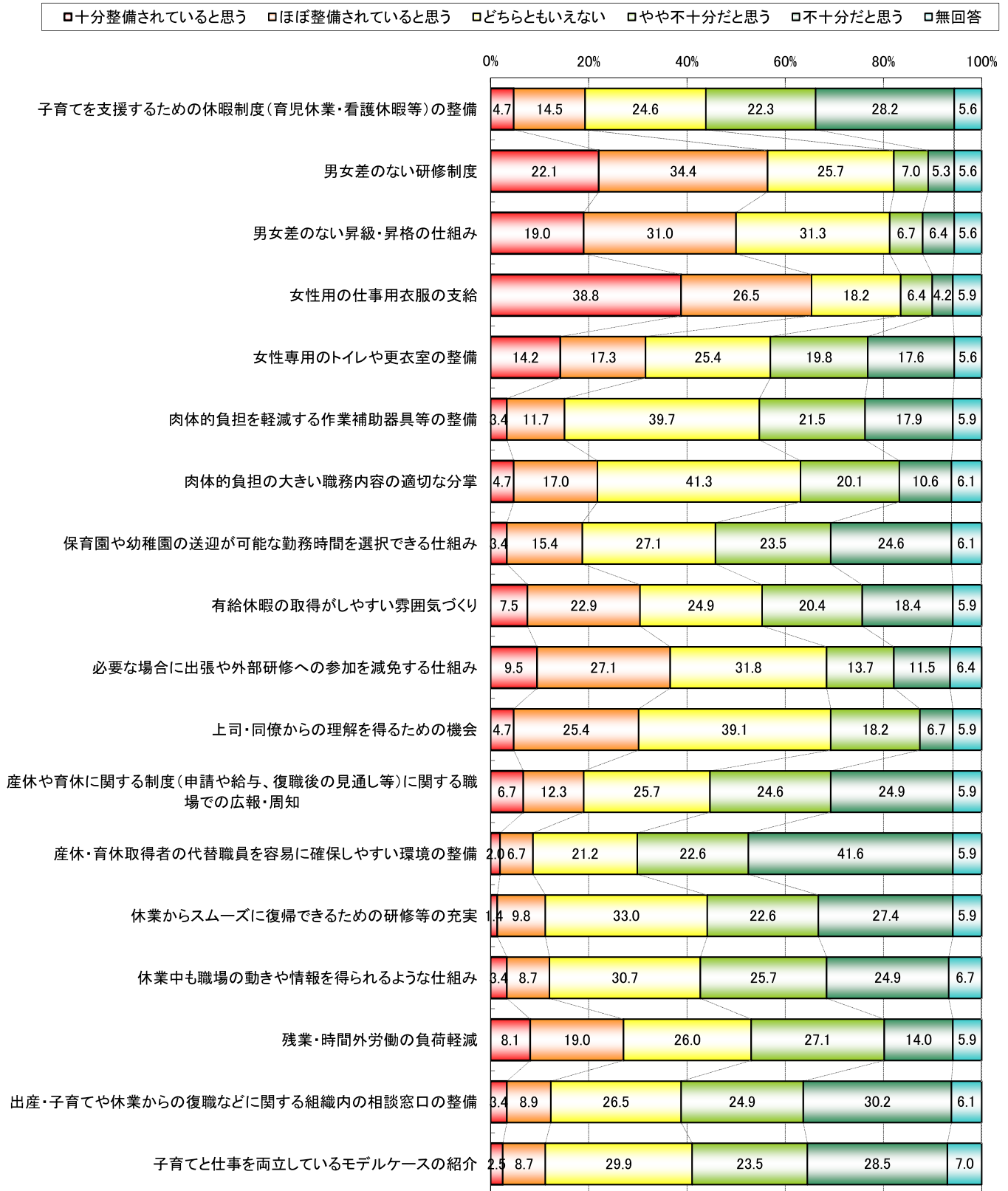
[図4-1] 産業動物診療に従事する男性獣医師からみた職場での女性獣医師就業支援の実感



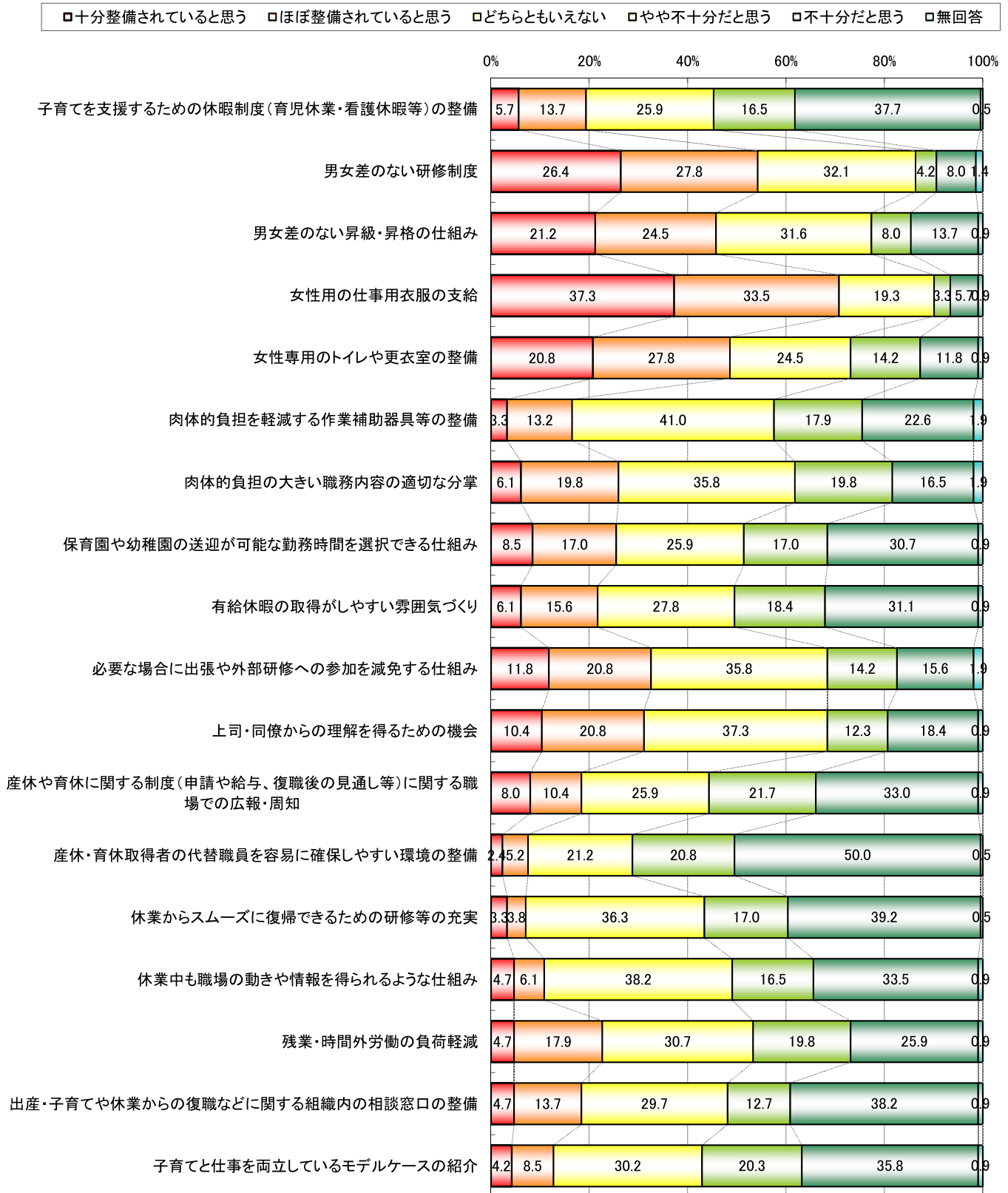
[図4-2] 産業動物診療に従事する女性獣医師からみた職場での女性獣医師就業支援の実感



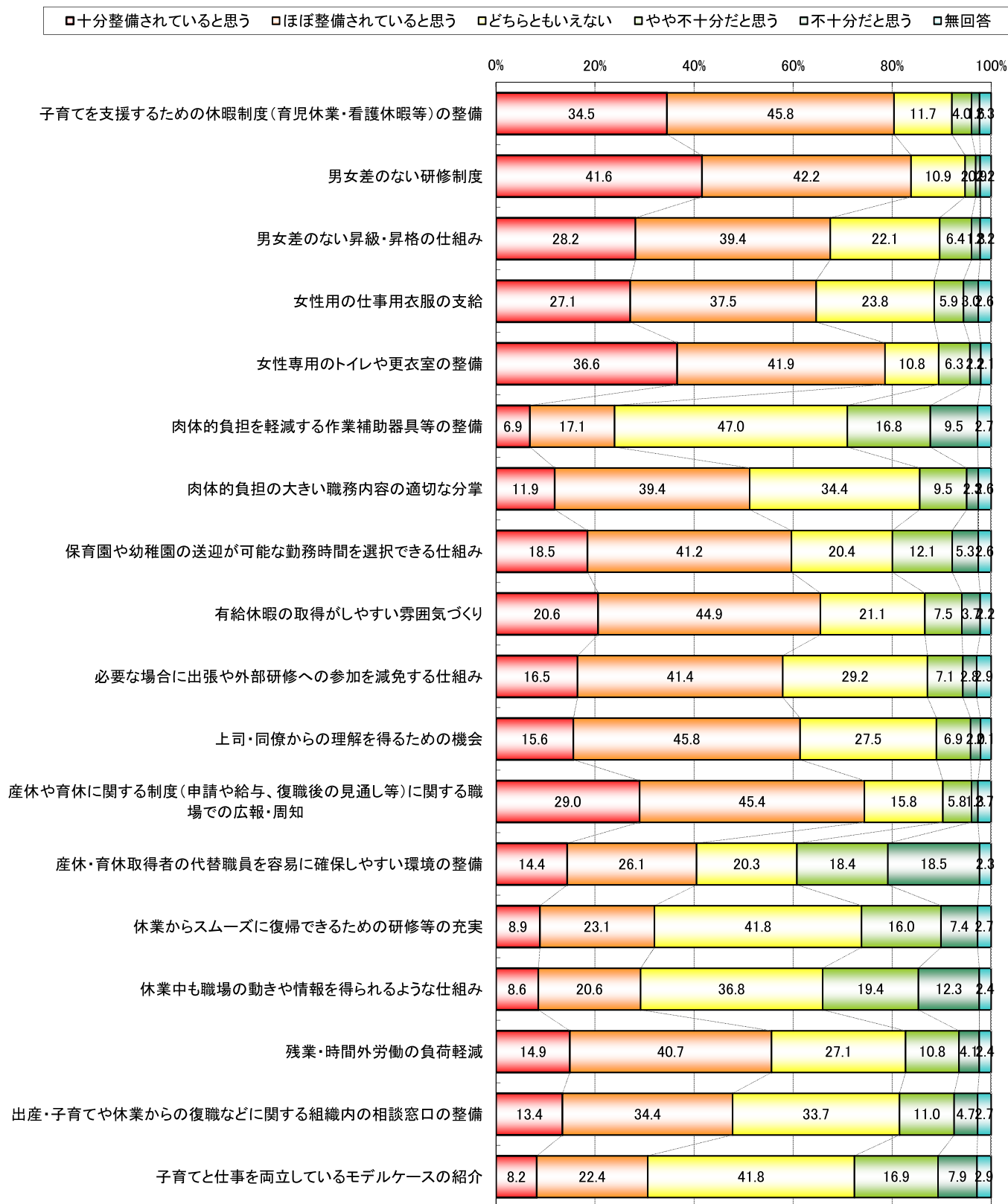
[図5-1] 小動物診療に従事する男性獣医師からみた職場での女性獣医師就業支援の実感



[図5-2] 小動物診療に従事する女性獣医師からみた職場での女性獣医師就業支援の実感



[図6-1] 公務員男性獣医師からみた職場での女性獣医師就業支援の実感



[図6-2] 公務員女性獣医師からみた職場での女性獣医師就業支援の実感

